



翼



第7号令和3年11月8日発行

「開校 60 周年式典と新校舎移転をお祝いして」

11月5日（金）午後2時より開校60周年式典を行いました。新型コロナウイルス感染防止から、参加者は3年生のみでご来賓のご参加も縮小して行いました。新校舎移転のお祝いもかねて行いましたので、式典の冒頭は、元CMディレクターの竹内幹氏を中心とした1974年度卒業生の皆様が自主制作してくださった学校紹介の思い出の映像を流しました。本校の60年という長い歴史と伝統を支えてくださった住吉町の地域や保護者、卒業生の方々、そして西東京市への大きな感謝と、ひばりが丘での新制ひばりが丘中学校の発展を目指すことを心に刻む会となりました。1, 2年生には式典の様子を後日、録画映像で見ることで、伝統を受け継いでいく思いを共有したいと思います。式典当日の記念品バックのデザインは、3年生2人の作品です。たくさんの素晴らしい応募作品の中から選ばれました。また来賓の方々にお茶をお出ししたときのコースターは美術部と家庭科部の合作品です。ご来賓の方にお持ち帰りいただきました。

校長 井上 雅子



<校長式辞> * * * * *

「美しや ひばりの鳴きし あとの空」小林一茶の讀んだ句です。真っ青な空にむかって、ほがらかな歌声を響かせながら飛ぶひばりのように、本日を本校が未来へ翼を広げて飛び立つ日としたいと思います。西東京市長 池澤隆史様、教育長 木村俊二様 市議会議長 保谷なおみ様、をはじめ地域、保護者の皆様のご臨席を賜り、開校60周年記念式典と新校舎移転のお祝いを行うことができ、心から感謝申し上げます。

本校は、昭和35年4月11日保谷町立保谷中学校分校として発足、昭和36年4月1日に独立し、保谷町立ひばりが丘中学校として開校しました。平成13年1月には、保谷市田無市の合併に伴い西東京市立ひばりが丘中学校に校名を変更しました。60年の間、地域の学校として変わらず応援していただき、学習に部活動にまじめに誠実に取り組む落ち着いた学校としてあるのは、ひとえにPTA活動、同窓会、青少年育成会の皆様とのつながりに支えられてきたからです。特にPTA活動は大変盛んで、生徒や教職員をいつもあたたかく力強く支えてくださり、本当に心強く思っています。また平成21年に発足したおやじ倶楽部が毎年実施している「職業講話」は、人生の先輩が語る、大切なことを学ぶ機会となっています。今年度、東京都教育委員会から「感謝状贈呈団体」に選ばれ表彰を受けます。

そして開校60周年を機にこの8月にひばりが丘の新しい学び舎に移転しました。また9月からは中学校初の自校方式の給食も開始しました。素晴らしい教育環境を用意していただいた西東京市に心から感謝申し上げます。当時の校長先生である勝見俊也先生が座長として「ひばりが丘中学校建て替え協議会」の中で提案され西東京市が示した新校舎設計の基本理念は「地域コミュニティの醸成に寄与する学校」そして「一体的な景観形成を推進するこれからのまちづくりに寄与する学校」です。これまで住吉町の皆さま方には、生徒たちを見守り育てていただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当に60年間ありがとうございました。これからは新校舎の環境で、旧校舎で培われた保護者、地域とのつながりを支えに「愛され信頼される学校」さらに「地域コミュニティ、まちづくりに貢献する学校」として新たな歴史をスタートさせていきます。

さて本校は20年前の40周年を機に学校教育目標をあらたに「自ら学ぶ 豊かな心 夢の実現」と掲げました。この教育目標の実現のためここ10年間で様々な研究に取り組み、生徒の確かな学力の定着、体力向上、豊かな心を育んできました。「キャリア教育の推進」「小中一貫教育」「東京都教育委員会スーパーアクティブスクール」「言語能力向上の推進」そして「主体的に考え行動する力の育成」の研究です。昨年、生徒会が、新校舎に持っていきたいもののアンケートを全校生徒に行いました。このアンケート結果の上位には、体育館に掲示してある校歌、教育目標とともに、「主体的に考え行動するひばりが丘中学生」があがりました。日常的に教職員が指導する一番は研究成果にもある「主体的に考え行動する生徒の育成」です。生徒たち自身も本校の生徒であるためには「主体的でなければいけない」と常に目標にし、それを新校舎にも持っていった、それが本校の伝統であり誇りであると思っていますのです。アメリカの文化人類学者マーガレット・ミード

氏の言葉に「未来とは今である」という言葉があります。既にある伝統、「生徒一人一人が主体的に考え全力で行動する」この今を積み重ねることで新生ひばりが丘中学校の未来は確実に創っていただけるのだと思います。

そしてこの本校の伝統にもう1つ新しく創り上げていかなければならないものがあります。それはオリンピック・パラリンピックの基本コンセプトの1つでもあった「多様性と調和」です。令和4年度には特別支援学級が開設します。結びに、あらゆる違いを肯定し互いを認め合うこと、「西東京市子ども条例」のもとに、多様性と調和の重要性を認識し共生社会の担い手となることを、あらたな本校の伝統として作り上げていくことをお約束して、私の式辞といたします。

■全国学力学習状況調査についての分析（授業改善プランとしてホームページにも掲載します）

今年度、令和3年度「全国学力学習状況調査」では、数学、国語ともに3つの分類「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」において全国の平均正答率を2～12ポイント上回っています。国語では、書くこと、伝え合うことに慣れ、基礎的な書く、話す、読む力がついてきたと言えます。また言語についての知識理解においては、ほぼ90%近くの正答率であることから、知識・技能が定着しています。ただ「話すこと・聞くこと」については、都の平均正答率をわずかに下回る結果となったため、教科として改善に向けた方策、話し合いの話題や方向を捉えて考える力や、質問の意図を捉える力を伸ばすための授業改善を行っていきます。数学では今年度も、習熟度別少人数指導を通じて手厚い個に応じた指導を行っている成果が、基礎的な知識・技能の定着につながっています。生徒の質問紙でも少人数指導は自分の理解度に応じた授業であり、質問や発言がしやすいなど、肯定的な意見が87%となっています。記述式の正答率もかなり高い結果ではありますが、引き続き、考え方をまとめたり、説明したりする活動で、思考力・判断力・表現力の育成を図っていきます。

■生徒会、後期委員会スタート

10月15日18日に行った生徒会役員選挙で新しい生徒会役員が決定しました。今回は初めて映像による立ち会い演説会、タブレットでの投票と新しい形式で実施いたしました。

■1年生 川越校外学習

10月27日、1学期から準備を重ねてきた校外学習を実施しました。電車の中の静かに落ち着いた態度、見学先で一生懸命メモを取り意欲的に学習する態度、友達とはぐれることがほとんどなく、楽しく充実した校外学習になりました。



■2年生 富士山校外学習

1年生スキー移動教室が中止となったため、2年生の校外学習では自然体験学習を実施しました。富士山樹海と洞窟探検を中心に、自然の偉大さと素晴らしさを味わい友達と協力することができました。



■生徒の活躍（敬称略）

○2年女子 400m自由形第7位 4分38秒85（第69回東京都中学校学年別水泳競技大会）

○全国中学校人権作文コンテスト東京都大会 優秀賞 2年生女子

■行事の変更 延期していた行事を次のように実施いたしますが、今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、さらに延期や中止となる場合がありますので、ご了承ください。

3年生修学旅行は2月27日（日）～28日（月）に鎌倉、横浜方面で実施します。